

浜嶋です。

世界陸上2015が終わりました。

9月が始まるのに際して、ちょっと気付いたことがありましたのでお話しします。

最終日の女子マラソンの解説でQちゃんこと高橋尚子さんが、「すなおな人は成長するんですよね」と言っていました。自分も素直に監督の言うことを聞くようになったら強くなったと振り返っていました。自分流にいくらやっても上達しない。基本的なノウハウを身につければうまくいくことは分かっている、自分を変えられないと結果はすなおでないということになるのでしょうか。

私たちは、カブ隊のさだめにある「カブスカウトはすなおであります」と教えられています。ボーイ隊は同様におきての一番目の「スカウトは誠実である」ということです。これをスカウトに指導しています。素直になれば、いろいろなことが実現できるのですね。世界的な選手でさえ、素直になれば金メダルもとれるようになる。すなおという意味は、これほど大切な言葉であることを、テレビを見ながら考えていました。スカウトだけでなく、いくら年をとっても、万人に共通することです。

指導者は、スカウトよりもこのことを深く理解して、ボーイスカウト活動あるいは職業の中に取り入れるといいですね。自分で実感することがスカウトに大切さを説明するのに役立つと思います。

BS隊とVS隊の指導者は、9月を迎えるにあたって、心新たにすなおに現状の評価を行い、多くの人の意見を取り入れて、どのような方針で、どのように説明すれば、スカウトが成長するかを考えてください。議論が大切です。コーチングのやり方で、スカウトの精神も技能も変わります。短い時間で最大の効果を引き出すやり方を追求しましょう。ちょっと今までのやり方を振り返って、よい方法を伸ばし、効果が出なかった方法は改善してみたいかがでしょうか。

私は、10月に行われる実修所での自己改善を始めています。正しいやり方をすなおに取り入れて団運営を改善していきます。みんなで考えましょう。